Rokko Catholic Church Bulletin

# カトリック六甲教会 教 会 報

12

No.564



			教会暦	教会行事
	1	土		秋の黙想会 10:30 (ミサ 14:15)
				クリスマスチャリティコンサート
				13:00~16:00(神戸中央教会)
	2	日	待降節第1主日(C年)	
			宣教地召命促進の日	
	3	月	日本宣教の保護者	
			聖フランシスコ・ザビエル司祭	
	7	金		初金曜日ミサ 7:00 10:00
				教会掃除(担当: 灘北1・北・三田)
	8	±	無原罪の聖マリア	無原罪の聖マリアミサ 7:00 10:30
				ロザリオの祈り 10:00
				(六甲教会創立記念日)
				社会活動部炊き出し
	9	日	待降節第2主日	小教区評議会 12:00
				第 16 回メサイア・クリスマスコンサート 14:00
12	14	金		教会掃除(担当: 灘北2・阪神)
				第 60 回神戸市民クリスマス 17:00~
月				(メイン会場 日本聖公会神戸聖ミカエル教会)
	15	±		教会学校 クリスマス会・終業式
	16	日	待降節第3主日	幼児を持つ親の集い 11:00
				ふれあい広場
	21	金		教会掃除(担当: 灘南・神戸西)
	23	日	待降節第4主日	クリスマス音楽の集い 14:00
	24	月		主の降誕(夜半のミサ)
				17:00 19:00 21:00
	25	火	主の降誕	主の降誕(日中のミサ) 7:00 10:00
	26	水	聖ステファノ殉教者	教区月修
	27	木	聖ヨハネ使徒福音記者	
	28	金	幼子殉教者	教会受付年末休み
	29	±		教会掃除(東灘北2・芦屋)
	30	日	聖家族	
	31	月		教会受付年末休み
				神の母聖マリアミサ 23∶00
				11000= 177 - 20100

## <宣教地召命推進の日・献金 (12月の第1日曜日)>

キリストを知らない人に救いの福音を伝えることは、キリスト者一人ひとりに課せられた 使命であり、神からの呼びかけにこたえること(召命)です。それゆえ、宣教地である日 本において、すべての信徒がその使命をはたせるよう、また宣教に従事する司祭・修道者 がよりいっそう増えるよう祈ることは、とても大切なことです。

この日、わたしたちは、世界中の宣教地における召命促進のために祈り、犠牲をささげます。当日の献金はローマ教皇庁に集められ、全世界の宣教地の司祭養成のための援助金としておくられます。

			教会曆	教会行事
	1	火	神の母聖マリア	神の母聖マリアミサ 8:30 11:00
			世界平和の日	教会受付年始休み(~1/3)
				第 24 回越年越冬「冬の家」
				10:00~15:30(東遊園地)
	4	金		初金曜日ミサ 7:00 10:00
				教会掃除(灘西・中央)
	6	Ш	主の公現	
	11	金		教会掃除(東灘北1)
1	12	±		典礼部会 10:00
				クリスマスの片付け 13:00
'				教会学校 始業式・もちつき
				社会活動部炊き出し
	13	日	主の洗礼	新成人祝福式と教会新年会
	14	月		教会受付休み(成人の日のため)
	16	水		大阪教区司祭評議会
	17	木		大阪教区新生の日
				阪神淡路大震災追悼祈念の日ミサ 10:00
	18	金	キリスト教一致祈祷週間(~25日)	教会掃除(東灘南)
	20	日	年間第2主日	幼児を持つ親の集い 11:00
				ふれあい広場
	21	月		三日月会 ミサと懇親会 14:00
	23	水		教区月修
	25	金	聖パウロの回心	
	27	П	年間第3主日	教会掃除(日曜班)
		_	世界こども助け合いの日	
	31	木		定期清掃



#### 2018 年度第5回地区役員会(2018年11月17日) 議事録

- 1 チャリティバザー11月11日(日)の報告 (チャリティバザー企画チーム)
- 2 教会行事日程と行事担当確認
- 3 2019 年度予算
- 4 その他

以上

<行事報告>

## 高山右近巡礼ツアー (10 月 25~27 日)

#### 福者ユスト高山右近ゆかりの地を訪ねて

明石教会が行かれた北陸地方のユスト右近の足跡を辿る巡礼の旅に私達も出かけました。 この巡礼は、福者ユスト右近が「時代の流れに武力をもって逆らわず、自分の信念・信仰を貫いた 人であった。それは自分の十字架を負ってイエスに従う道だった」ことを色々な遺跡を通して教え てくださいました。

七尾市の本行寺で禁制下においても毎日の祈りのために工夫された観音像や修道所跡を見た時 「絶えず祈りなさい」を行われていた様子がよく分かりました。そして自分の道を「み言葉」と照 らし合わせて見定めたことでしょう。日常生活では金沢市内に残るお城の惣構の跡や利長の命で縄 張りをした高岡城跡を見ても才能を十分生かし、多くの人に慕われていたことが分かります。羽咋 市などに残る記念公園は400年後の現代にまで慕われている証でしょう。「互いに愛し合いなさい」 を実行されたからではないでしょうか。 静かな七尾の海を見ながら、現代と右近の時代の違いに ついて考えてみました。何が一番違っているのだろうと考えた時、すべてにおいて喧騒と拙速を厭 わない世の中の流れるスピードが違うのでないかと思いました。金沢まで私たちは3時間弱で到着

しました。右近たちは何日かか って北国についたのでしょう。 便利になって私たちは落ち着き や静けさを失ったのではないで しょうか。茶の湯を愛した右近 には、私たちが失った振り返り の時間も豊かにあったことでし よう。

七尾市の本行寺で禁制下にお いても毎日の祈りのために工夫 された観音像や修道所跡を見た 時「絶えず祈りなさい」を行わ れていた様子がよく分かりまし た。そして自分の道を「み言葉」 と照らし合わせて見定めたこと でしょう。日常生活では金沢市



内に残るお城の惣構の跡や利長の命で縄張りをした高岡城跡を見ても才能を十分生かし、多くの人 に慕われていたことが分かります。羽咋市などに残る記念公園は400年後の現代にまで慕われてい る証でしょう。「互いに愛し合いなさい」を実行されたからではないでしょうか。

静かな七尾の海を見ながら、現代と右近の時代の違いについて考えてみました。何が一番違って

いるのだろうと考えた時、すべてにおいて喧騒と拙速を厭わない世の中の流れるスピードが違うのでないかと思いました。金沢まで私たちは3時間弱で到着しました。右近たちは何日かかって北国についたのでしょう。便利になって私たちは落ち着きや静けさを失ったのではないでしょうか。茶の湯を愛した右近には、私たちが失った振り返りの時間も豊かにあったことでしょう。

最後に、時の権力者である秀吉や家康でも一人の信仰者の信仰を変えることが出来ませんでした。 ユスト右近に信仰を目覚めさせたのは「十字架上に奉げられたイエスキリストの愛」つまり「十字 架上の生贄」であった。そのことを確り考えさせられた2泊3日の巡礼でした。 (藤原)

#### 第5回の高山右近の旅で感じたこと

「神のはからいは限りなく、生涯わたしはその中に生きる」

高山右近のことを思う時いつも頭に浮かぶ詩編です。

禁教時代に「信仰を守る」と宣言した人も、他方「信仰を捨てる」といった人達も色々なパターンがあったでしょう。各人がどのような道を選択しても、結果もすべて同じではありえません。棄教を迫られて NO と言ってもイエスキリストのような死刑になるとは限らないのは史実が証明しています。「武士は二君に仕えず、一端切支丹信仰を志したことは簡単に変えず志操堅固なことが武士の心意気」と右近は、秀吉の命で千利休を通じて「棄教の代わりに佐々成政に仕えることを許す」という案を告げられた時にも拒否しました。(『混見摘写』より)

右近は流浪の後に金沢に移り 26 年間家族と平穏な生活の中でも小田原や九州攻めの大きな戦い



には前田利家と共に秀吉軍として参戦し軍功を上げていました。「政庁の煩わしい中で生きるより安らかな余生を過ごしたいが、妻子、両親のことを思うと自分の考えを貫くわけにはいかない。過ぎ去った苦悩と危険から解放されたことを非常に喜び、かく計らいたもう主の憐みにかぎりなく感謝している」と朝鮮征伐に向かった名護屋城からフロイスに書き送っていることが『フロイス日本史』に載っています。

右近は突然教皇シスト5世からの書簡(1590年4月24日付け)を受け取り大いに励まされ慰められたと想像できます。1591年は右近の茶の湯の師匠千利休が秀吉から切腹を命ぜられた時期で、右近は「日本にいる宣教師たちの困難が、神の見守りにより決して無駄にはならない」と書き送っています。(ヴァチカン公文書図書館蔵)

《高山右近は「日本の信者のお手本」》と言われてきましたが、今回の旅で高岡城の右近が縄張り(設計)した当時のままの石垣の濠側に明らかに手彫りの♣の印をいくつも見つけた時は、400 年以上の刻を超えた信仰の証を共有できたように思いました。

すべては神のはからいのうちですね。

(小柳)

~!~!~!~!~!~!~!~!~!~!~!

<行事報告>

### 祈りと音楽の集い「祈りとともに歩む」に参加して(10月28日)

10月28日 秋晴れの穏やかな日、六甲教会の「祈りと音楽の集い」が開かれました。 今日は古き友人のお嬢さんで、麹町イグナチオ教会のオルガニスト・浅井寛子さんがお見えになる ということで、お会いできるのを楽しみに教会へ伺いました。

演奏曲はバッハの"ゴルドベルグ変奏曲" 「数字的な配置や対照が見事になされているところ

は、旧約聖書の詩編 150 編に通じるものが感じられます。曲ごとにそれぞれの性格を表す漢字を自分の主観で表現し、壁に投影致します。皆様の受け止め方はそれぞれ異なると思いますが、分かち合いとしてこの後の語らいの種にしていただければ幸いです」と浅井さんは語られ、演奏に入りました。

70 分休憩なしの構成、内容も自由に受け止めていいと伺ったものの、私は馴染みのない曲を前に 一瞬「さあ聴きましょう」と身構えてもいました。

音楽が始まると聖堂の壁に一曲ごとに漢字が一文字投影されます。そのうちに「次の曲にはどんな漢字がつき、何を表現しているかしら?」と考え、曲のイメージにあてはめ、映し出される漢字と自分が感じるイメージの字と比較して楽しんで聴いていました。身構えて固くなっている心はどこかへいき、一文字一文字の漢字に、自分が人生の中で人との関わりの内で体験したこと、感じたこと、足りたこと、足りなかったことは何かなと振り返っていました。

投影された漢字をご紹介いたします。慈から始まり、悦、歩、楽、奮、嬉、進、躍、泉、慎、威、

慕、厳、篤、炎、孤、勇、闘、若、新、臆、妬、健、戯、尊、失、霊、敏、爽、愉、賑、最後は愛で終わりました。視聴覚で音楽を楽しむこの企画は、私にとって恵みのひと時、静けさの中で心をめぐらす祈りと黙想の時となり、主が私たちに与えてくださった掟「互いに愛し合いなさい」という言葉を考えさせられました。

音楽チームの皆様がこのような「祈りと音楽



の集い」を企画してくださることに特別な思いを感じておりませんでしたが、他教会の方々から「六 甲教会はいいですね」と羨ましがられました。あたり前があたり前でないということにも気づかさ れた集いでした。ありがとうございました。

感謝のうちに。 (藤原)



## バザーのお礼報告

11月11日のチャリティバザーは、穏やかな秋晴れに恵まれ、たくさんの方にお越しいただきました。皆さまのお蔭で、地区会と社会活動部を合わせますと、たくさんの収益を上げることが出来ました。本当にありがとうございました。ご協力していただいた皆さまに心からお礼を申し上げます。

今年の出品は少ないかと心配しておりましたが、いろいろご配慮いただいてリサイクルの衣料も蚤の市の商品も良い品がそろいました。各種飲食や手作り品コーナー等も楽しんでいただけたと思います。狭い会場での人ごみでご迷惑をかけたことと思いますが、大きな混乱もトラブルもなく、終えることができました。改めて感謝申し上げます。



#### **≪ お 知 ら せ ≫** 教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです

### ★社会活動部より★

12月 5日(水)10時 手芸の集い(第1、第2会議室) どなたでも参加ご自由です。

12月 7日(金)初金ミサ後 高山神父さまの学習会 (第4会議室)

12月 8日 (土) 10時 炊き出し (イグナチオホール台所)

小野浜グランドにて、おじさん達のお話相手や配食だけでも OK です。

12月10日(月)9時半 ともしび会 施設の子どもたちへのケーキ作り

(イグナチオホール台所)

12月16日(日)10時ミサ後 ふれあい広場 (イグナチオホール)

12月25日 (火) 12時半 ともしび会

クリスマスデコレーションケーキを子どもたちにプレセント

#### ◆ 社会活動部からの報告

今年も大勢の方々にバザーに来ていただきありがとうございました。海外で教育環境に恵まれない子供たち、知的ハンディの人々など 様々な角度から支援しているボランティアグループが、教会の場をお借りして出店させて頂いたことに深く感謝いたします。今後とも、ふれあい広場(毎月第3日曜日10時ミサ後)でもご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

~.~.~.~.~.~.~.~.~.~.~.~

## クリスマス チャリティコンサートのお知らせ



## カトリック社会活動神戸センタ~支援のため

日時: 12月1日 (土) 13時~16時 (開場 12:30)

場所: カトリック神戸中央教会

主催: カトリック社会活動神戸センター

入場: 無料(路上生活者支援のための活動資金に皆様から愛の献金を!)

※詳しくは、聖堂入口の掲示板ポスターをご覧ください。

## カトリック社会活動神戸センターから

## 第24回 越年越冬のお知らせ

期間中、多くの方のご協力を得ながら 毎日「冬の家」を設営していきます。 みなさまの参加をお待ちしています。

2018 年 1 2 月 28 日 (金) ~ 2019 年 1 月 4 日 (金)

時間: 午前 10:00 から午後 3:30 頃

場所: 東遊園地(神戸市役所南端) 主催: 越年越冬実行委員

カトリックの当番日は1月1日です。お一人暮らしの人も一緒にお雑煮を食べませんか?

## お願い

## 野宿者の防寒着が足りなくて困っています。

<u>ご家庭で眠っている</u>男性用の防寒着、特にジャンバー、コート、ジャージ、 ダウン類などがありましたら、聖堂入口に置いてある段ボール箱に 入れてください。収集期間は、

> 12月8日(土)~12月16日(日) 皆様の愛で、温かいご支援をよろしくお願いします。

#### ★養成部より★

## 秋の黙想会のお知らせ

日時:12月1日(土)10時30分~15時(ミサ14時15分~)

場所: 六甲教会主聖堂

指導司祭:中井淳神父様(イエズス会)

参加費:無料

事前申込み:不要

多くの方のご参加をお待ちしております。

## ★墓地委員会より★ 墓地っ子便り

お天気にも恵まれた11月4日(日)、墓参と19名の方の納骨が行われました。 皆さまお気付でしょうか?

最近共同墓地が大変賑わって刻銘版のスペースが手狭になって まいりました。中央の小さな刻銘版の4枚をお名前を彫りかえて大 きなもの2枚に取り換え、新しい2枚の刻銘版を備えました。しば らくはご安心して頂けそうです。

また最近イノシシによる被害が出ており、対策を検討中です。墓 参の折に遭遇された折はお気を付け下さい。



## 第16回メサイア・クリスマスコンサート



2018 年 12 月9日(日) 14 時開演 会場:カトリック六甲教会聖堂 入場無料 どなたでもご自由にお入りください

指揮:エリック・コロン

出演: 声楽アンサンブル カメラータ神戸

ゆりかごの会

カトリック六甲教会有志

一般有志

メサイア室内楽アンサンブル

曲目: クリスマスキャロル メサイア(ヘンデル作曲)より

主催:メサイア実行委員会

## TO THE TENED TO THE SECRET TO THE SECRET

## 第60回神戸市民クリスマス 「みんなで祝おうクリスマス」

聖句 「羊飼いたちは、見聞きしたことが すべて天使のはなした通りだったので、 神をあがめ、賛美しながら帰って行った。」 (ルカによる福音書2章20節より)



- 日 時 2018年12月14日(金)
  - 1. キャロリング/17:00~18:45 (北野コース・元町コース)
  - 2. 子どもプログラム/17:30~19:30(入退場随時可)
  - 3. ほっとタイム/18:00~19:15
  - 4. 祈りと祝福のとき/19:30~20:30

メイン会場 日本聖公会神戸聖ミカエル教会(兵庫県の西)

入場無料 どなたでもご参加いただけます。

主催:神戸市民クリスマス委員会



## クリスマス音楽の集い

日時 2018 年 12 月 23 日 (日) 14 時開演 場所 カトリック六甲教会 入場無料 どなたでもご参加いただけます。

#### プログラム

ダカン:スイスのノエル グラン・ジュとデュオ (ノエル集第12番)

ヘンデル:メサイアより

モーツアルト:フルートによる クラリネット協奏曲ト長調 KV622 より

ボルティング: オルガン連弾によるクリスマスキャロル より

グラハム/ラブランド:ユー・レイズ・ミー・アップ

森一弘/新垣壬敏:きかせてください 他



### カトリック六甲教会年末年始ミサ予定

12月24日(月) 主の降誕 夜半のミサ 17時、19時、21時

12月25日(火) 主の降誕ミサ 7時(早朝のミサ)、10時(日中のミサ)

12月31日(月) 神の母聖マリアミサ 23時

1月1日(火) 神の母聖マリアミサ 8時30分、11時

## 信徒のみなさまへ

12月1日から聖堂入口にて、「六甲教会の祈り」カードを配布します。各自お持ち帰りになり、<u>六甲共同体の一員として、六甲共同体の</u>ために、日々お祈りください。



アルフレド主任司祭

イグナチオの霊性に基づく祈る共同体ワーキングループ

#### 「六甲教会の祈り」

父なる神よ、私たち六甲共同体がロヨラの聖イグナチオの霊性を生き、「すべてを吟味して」何が神の御旨であるかを識別し、「すべてにおいて神を見出す」ことができるように祈る心を持たせて下さい。

私たちがキリスト者として、真の愛と深い交わりを求めて、互いに理解し合い、愛し合い、赦し合い、助け合う共同体となることができますように。

地域・文化・言語・社会的立場の枠をこえて、司祭・修道者・信徒が一致し、共に働き、 教皇フランシスコが求めている「出向いて行く教会」を実現する勇気をお与えください。 私たちひとりひとりがおかれている場所で、知らずに福音を求めている人、助けを必要 としている人、困難な状況におかれている人、隅に追いやられている人に手を差しのべて、 「共に喜び、共に泣く人」としてください。

私たちはイエスの弟子であり、遣わされた者であることに気づき、心にまかれた喜びの 福音を多くの人に伝えることができますように。アーメン。



教会報1月号の発行は、12月30日(日)です。 原稿は12月17日(日)までに教会受付へご提出 ください。FAX及びメールでも受付いたします。

(広報部)

http://www.rokko-catholic.jp

1 六 甲 教  $\pm 657 - 0061$ 神戸市灘区赤松町 3-1-21 話 0 7 8 - 8 5 1 - 2 8 4 6 0 7 8 - 8 5 1 - 9 0 2 3 Α Χ Mail address renraku@rokko-catholic.jp アルフレド・セゴビア 発行責任者 編 広 報